

生涯学習センター（仮称）の設計者選定結果について

西尾市では、令和5年9月9日に西尾コンベンションホールで行われました生涯学習センター（仮称）設計者選定委員会（以下「選定委員会」という）による最終審査の結果を受けて、生涯学習センター（仮称）の設計者選定結果を以下のとおりとしました。

なお、市では、最優秀案に選定された設計者と協議して10月中に設計業務の契約を締結し、本年度末までに基本設計を終える予定です。

1 設計者の選定結果

区分	応募登録者名称	代表者氏名	所在地
最優秀案	斎藤信吾建築設計事務所	斎藤 信吾	神奈川県横浜市
優秀案	株式会社 i h r m k	井原 正揮	東京都港区
佳作	砂越陽介一級建築士事務所	砂越 陽介	東京都板橋区
佳作	株式会社タトアーキテクト	島田 陽	兵庫県神戸市
佳作	株式会社千田建築設計	千田 友己	千葉県柏市

※最優秀案の平面図（案）及びイメージ画は別紙1のとおりです。
※最優秀案に選定された設計者のプレゼンテーションと選定委員会の質疑応答の様子は右の二次元バーコードから視聴できます。



2 選定委員会委員長の審査講評（設計者の選定理由）

最優秀案の講評は以下のとおりです。なお、講評全文は別紙2を参照ください。

最優秀案となった斎藤信吾建築設計事務所の案は、敷地の外周に沿って「逍遙空間」と呼ぶ回廊状の空間を設け、そこにぶら下がるように多世代交流広場やあゆみ学級、コンパスなどの目的室を連ね、さらにこれらの部屋群に囲まれるようにして公園を配置するという提案です。様々な目的、多様な利用者が使うことになる生涯学習センター（仮称）において、それぞれの部屋の独立性やプライバシーを担保しつつ、逍遙空間を介し、また公園を介して多彩な交流を築こうとする狙いは、施設の趣旨を的確に捉えたもので、魅力的です。またこの公園を、近隣の学校に通う児童も自由に通り抜けられるようにしているところは、ここでの活動が地域にごく自然に浸透していくことにも繋がります。そして、好感が持てます。果たして逍遙空間は単なる廊下にはならないのか、各部屋と公園のつながり方は単調ではないか、分棟は管理が難しくないかなど、いくつかの懸念点も指摘されましたが、こうした点は、今後具体化する過程で発展的に解決できるポテ

ンシャルがあること、また各部屋の配置や繋がり方や将来に向けての用途変更など、長期にわたって使用される公共施設に必要な可変性も備えている点を高く評価し、最終的に最優秀案に選定しました。

参考) 生涯学習センター (仮称) 設計者選定委員会

(敬称略)

区分	氏名	所属
委員長	千葉 学 (建築家)	東京大学大学院 工学系研究科教授
委員	伊藤 恭行 (建築家)	名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科教授
委員	小野田 泰明 (建築計画者)	東北大学大学院 工学研究科教授
委員	加茂 紀和子 (建築家)	名古屋工業大学大学院 工学科教授
委員	手塚 由比 (建築家)	手塚建築研究所

3 今後の予定

令和5年度	基本設計 (設計者との市民ワークショップ開催予定)
令和6年度	実施設計
令和7年度	整備工事
令和8年度	整備工事
令和9年度	供用開始